



通学路に咲く
紫陽花の花。
実習生の皆さん
の目を楽しませ
てくれています。

6月に入り、関東地方も梅雨入りし、昨年11月以来、ほぼ毎朝行われてきた、朝の中庭ラジオ体操も、雨天中止になることが多くなっています。今年の梅雨は、ジメジメ・ムシムシと言うより、少し肌寒さを感じる日が多いように思われます。それでも、晴れた日には気温が25℃を超える夏日になることもあり、教室ではエアコンがフル稼働という日もあります。梅雨と言うと、気持ちもどことなく沈みがち。天候も不順で、体調管理も難しい日々が続いていますが、実習生の皆さんは、元気いっぱい。「おはようございます。せんせい、よろしくおねがいします!」と、教室からは、いつもと変わらぬ元気の挨拶が聞こえてきています。

あじけんスコープ Vol.43

～あじけん講師ファイル～

今月は、昨年末から新たに日本語講師として活躍している新メンバー、石崎智子（いしざきともこ）先生を紹介させていただきます。

本校で日本語を教えて半年間が過ぎました。実習生の会話能力は様々で、はじめは簡単な会話しかできない実習生もいます。それでも、積極的に授業に参加することで、次第に日本語を聞いたり、話したりすることに慣れていき、多くの実習生が、実践的な日本語力を身に付けていきます。もちろん言葉を習得するのに学習者自身の努力が必要なのは言うまでもありません。なかには日本語に馴染めない実習生もいます。そんな実習生の皆さんには、授業内容を工夫することで、少しでも話すことの楽しさを感じてもらいたいと考えています。また、出来るだけ日本語を話したくなるような環境を作ることを心掛けています。実習生の皆さんが、本校を卒業後、安全で、円滑に技能実習に取り組んでいけるよう、厳しさの中にも優しさを持って、全力で授業に臨んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



今月の実習生

今月は、インドネシア人実習生の YANUAR RAMADHAN（イオナ）さんをご紹介します。

イオナさんは、高校を卒業したばかりのまだ18歳の青年。6月の初めに入寮して以来、その高い日本語能力が講師の間でも評判になっていました。レベルチェックテストの結果はリスニングテスト86点・筆記テスト87点、会話テストCレベル。来日当初からこれ程「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能が、高レベルで、バランスよく身に付いている実習生は、なかなかいません。話を聞いてみると、高校を卒業したら技能実習生として日本に来ることを目標とし、高校3年生の時に1年間（週2日）実費で日本語学校の初級日本語コースを受講し、日本語力の向上に取り組んだとの事。日本語だけでなく、生活態度も落ち着いて、礼儀正しい振る舞いも身に付いている好青年。イオナさんが、3年間の充実した技能実習生活を送り、将来、祖国の発展に貢献することを願っています。



私が日本に来るのは、長い夢でした。日本で日本の厳しい仕事のやり方や、進んだ技術を勉強したいです。そして、日本語も勉強して、いつか日本語能力試験のN1に合格したいです。自分を変えたいです。自分だけではなく、インドネシアに帰って、インドネシアをもっと、発展させたいです。そして、インドネシアの人の暮らしも、もっと良くしたいです。（イオナ）

あじけん流日本語授業

今月のあじけん流日本語授業は、現在本校で継続して取り組んでいる「効果的な読む・書く指導」の一環として行なわれたひらがな指導の実践例をご紹介します。本校で日本語を学ぶ実習生の皆さんの来日当初の日本語力は、母国での学習期間、学習方法によって、千差万別です。ひらがな・カタカナの読み書きが出来ない状態から学習を始める実習生も大勢います。そんな実習生の皆さんが、短時間で効果的に、五十音の読み書きをマスター出来るようにと考えだされた活動が、今回ご紹介する「動詞ジェスチャー早書きゲーム」です。指導の手順は、先ず、2チームに分かれて、各チームからジェスチャー担当と解答担当の実習生を選びます。そして、ジェスチャー担当の実習生は、講師が提示するひらがな表記の動詞カード(はたらく)を黙読し(STEP1)、その動詞をジェスチャーで、書き手(解答担当)に伝えます(STEP2)。書き手は、ジェスチャーで示された動詞を正しくホワイトボードに書き(STEP3)、相手より早く正確に書けたチームが勝ちとなり(STEP4)、負けたチームには罰ゲームが課されます(STEP5)。

STEP1



STEP4



STEP2



STEP5



STEP3



この活動は、2チームに分かれて勝ち負け(罰ゲーム付き)を競うゲーム形式のため、学習者のモチベーションが上がり、単調で退屈になりがちな「読む」「書く」練習を、楽しく積極的に取り組める活動にすることが出来ます。また、ひらがなの「読み・書き」の練習だけでなく、単語の意味用法の定着にも効果が期待できる活動として、特に日本語100時間講習カリキュラムの前半に取り入れるのが効果的と考えられています。

※ 当校ホームページ <http://www.aijken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます